

3年SGコース成果発表会を開催しました!!

7月14日(金)に3年SGコースによる成果発表会が開催されました。SGコースが1年半進めてきた課題研究の集大成として、全国の教育関係者・外国人留学生に対して英語で発表を行いました。当日は立教大学の松本茂先生をはじめ、東京外国語大学・金沢大学の留学生も参加してくださいました。参加者からは、「質疑応答での物怖じしない姿勢が素晴らしかった」「各グループがSDGsに合った考察を一貫性をもって述べていた」など高い評価をしていただきました。

1年半という長い期間、一つのプロジェクトに取り組むということが初めてのことで、様々な苦難がありました。この活動を通して他の人の力というのはすごいものだと思えてきました。自分が絶対にできない着想や表現に触れ、自分だけではできなかった経験もすることができました。

2年生の4月当初は、今日のプレゼンテーションのように自分が英語で受け答えをしているとは思っていませんでした。

発表の力だけでなく、自分でアポを取り、調査する力、論文を書く力など、今後の人生で役に立つような力をつけることができ、本当に成長できた。

自分の言いたいことを相手に伝えることは、母国語をもってしても難しいのに、ましてやそれを外国語でとは、どうしようと最初は困惑しましたが、発表を終えた今、伝えたいという気持ちがあれば相手に自分の考えが伝わると感じました。



2年SGコースエンパワーメントを行いました!!

7月14日(金)の成果発表会終了後に、2年SGコースによるエンパワーメントを行いました。現在進めている課題研究について、英語で外国人留学生と意見交換を行う機会です。生徒たちが、一生懸命研究について説明する姿、それを真剣に聞いてアドバイスしている姿が見られました。

留学生達は私たちのプレゼンの後に、とてもたくさんの質問をしてくださった。いろんな事に疑問を持つ姿勢は学ぶべきだと感じた。

自分たちが当たり前だと思っても国によって捉え方が違う場合があるので、研究で言葉を使うときは常にその定義を確認するのが大切だと分かった。

自分の言いたいことが伝わらない、すごく悔しかった。原稿を読むだけでなく、質問やディスカッションに積極的に参加できるよう、英語力を上げます!“できなかった”から“できた”に変えていきたい。



2年SGコースおもてなしガイドを行いました!!

7月15日(土)に東京外国語大学の留学生に対して、2年SGコースの有志12名がおもてなしガイドを行いました。これに先立って6月28日(水)にワークショップを行い、グループごとに観光プランづくりとプレゼンを実施しました。その中から留学生が選んだプランは、兼六園→和菓子づくり→金沢21世紀美術館というコースで、留学生たちは大変喜んでくれたようです。

おもてなしガイドを通して「自分たちの文化や郷土を他の国の人に紹介すること」の難しさと楽しさを学ぶことが出来ました。

外国人と話して感じたことは、日本人よりも「なぜ?」「なんで?」という興味・関心が非常に高いということです。

自身のことや自身の学校、金沢という町について改めて考えるよい機会を得られたと思う。金沢の観光名所を案内するために自分で調べた際、今まで知らなかった知識を得られた。日本のものを分かりやすく伝えることは意外と難しいと実感した。

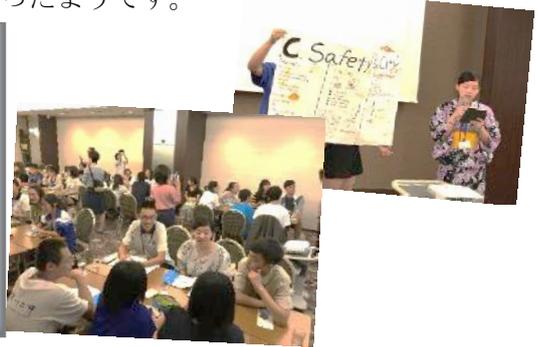


日中韓青年文化フェスティバルに参加しました!!

8月3日(木)～8月7日(月)に本校3年SGコースから4名が東京で行われた、日中韓青年文化フェスティバルに参加しました。「持続可能都市とコミュニティ」をテーマに中国、韓国の高校生たちと積極的に英語での議論を行い、とても充実した研修となったようです。

たくさん話したいと思えば思うほど英語で何て伝えればよいか分からなくて悔しいと感じることがとても多かったです。ですが、その分お互いの伝えたいことが理解できて会話が成り立った時の達成感は最高だったので、間違えることを恐れずに相手に自分の言いたいことを一生懸命伝えようとする姿勢をこれからも大切にしていきたいと思えます。

このプログラムに参加する前、私は、韓国人と中国人は反日感情を持っているのではないかと正直とても不安でした。しかし、韓国の人と初めて話したとき、自分の心の中の不安は、一気に無くなりました。韓国の人は私の拙い英語を一生懸命に聞いてくれました。英語力を気にしていた自分が馬鹿らしく感じられました。別れの時に泣いてしまうくらいの友達を作ることができたことは、参加前の私には信じられないことでした。



イオン1%クラブアジアユースリーダーズに参加しました!!

8月20日(日)～8月26日(土)に東京で行われたイオン1%アジアユースリーダーズに、本校2年SGコースより3名が参加しました。「食と健康」をテーマとして、アジア6ヶ国の高校生が一堂に集まり議論を行いました。

他の国の友達ができ、宗教の違いなど異文化に触れる事ができる機会があった。しかし私は、違い以上に同じところや似ているところをたくさん見つけた。笑いのツボ、周りに気を配る優しさ、励まし合う心、本番前に手をみんなで握る事で勇気付けられるところ、プレゼンで優勝したときに喜び合えること、別れをつらく悲しく思うところ、このプログラムでみんなに出会えて嬉しく思うところ…。国境なんて関係ない。みな同じ感情をもち、それらを分かち合うことができる。こんなにも素晴らしい友達に出会う事ができ、私は幸せだ。

話すタイミングをつかめなかったり、相手が何を言っているのかわからなくて悔しい思いをしたりしたこともありましたが、積極的に失敗を恐れずに質問するように心がけると、結果として最後のディスカッションではたくさんの提案や意見交換ができるようになりました。

このプログラムでは、今後会うことができないかもしれないほどの素晴らしい友達に出会うことができました。彼らは私が知らなかった新しい世界を教えてくださいました。そしてこれからの時代を担う同志です。私がいかに小さな箱庭で暮らしてきたか、今回のプログラムではっきりと分かりました。



お知らせ

～グローバル体験報告会～

9月15日(金)放課後 15:20～16:40
1・2年希望者対象で、この夏休み中に留学に行った4名の生徒から、留学の体験を報告してもらいます。

※申し込みはSGH推進室まで!

締切 9月13日(水)

～エンパワメントプログラム～

12月25日(月)～12月27日(水)
毎年好評の外国人留学生とのワークショップを今年も行います!英語を話すことに自信がつく3日間。興味のある人はぜひ説明会に参加してください!

説明会: 9月29日(金) 12:00～

グローバルのスズメ ～グローバル×私～ file3. 笠田 茉莉 先生(理科)

第3回目は笠田先生です。さて、先生の『グローバルな体験』とは…?

‘Smile makes this world wonderful.’

小さい頃から漠然と広い世界にあこがれていて、中学に入ると夢中で英語の勉強をしました。中学を卒業するときに書いた将来の夢は、「世界中にともだちをつくる」です。色んなつながりのおかげで、ここまででかなり上々の達成度です。ここでは、笠田流世界を広げる方法とその利点を少し紹介させていただきます。

ともだちづくりは最初から順調だったわけではなく、山ほど衝突を繰り返しました。言葉の壁、文化の壁、宗教の壁…色んなことが思うようにいかず、落ち込んだり怒ったり。そんな時に役立つのが笑顔です。留学中のシェアメイトとは、歌って踊って打ち解けました。喧嘩したときは、面白いテレビを一緒に見て自然と和解しました。英語を習い始めたばかりのボルネオの子供たちとは、川遊びで一緒に大はしゃぎをして仲良くなりました。

言葉も文化も宗教も違うけど、楽しいと感じる気持ちは共通で、壁なんて本当はないんですね。結局私にとっての壁というのは自分が勝手に作った、違いを受け入れられない言い訳みたいなもので、それを取り払うと、その向こうにいた人とのつながりが生まれ、世界が広がるような気がします。自分を知って、思ってくれる人が世界中にいるのはとても幸せで心強いです。旅行も100倍楽しいです。お互いを思う気持ちが広がれば、ゆくゆくは平和な世界になるんじゃないかと、そんな日を今は夢見ています。移動も連絡も簡単にできるこの時代に、肩ひじ張らずに、皆さんも笑顔でグローバルに生きてみませんか。

